

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	魚津市		地区名	経田地区			面積	44ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	700百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:地方道整備(小鯉川側線他9路線) 地域生活基盤施設:情報板										
		提案事業	地域創造支援事業:土地区画整理事業、地区公民館改修事業 事業活用調査:公共施設活用調査 まちづくり活動支援事業:経田まちづくり活動支援事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし	—			—			—			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:経田海岸線 地域生活基盤施設:地域防災施設(耐震性貯水槽)	道路:経田海岸線の拡幅計画にあわせ、道路改良を行う。 地域生活基盤施設:区画整理事業により既存防火水槽の存続が困難となるため、区画整理事業で整備する街区公園に耐震性貯水槽を設置し、防災性の向上を図る。			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。						
提案事業		なし	—			—			—				
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	老朽建築物の更新件数	件/年 (件/5年)	0件/年 (0件/5年)	H17	10件/年 (50件/5年)	H22	モニタリング	評価値	○	あり	道路整備事業や土地区画整理事業を行い、建替え困難な敷地環境を改善し、老朽建築物の更新を促進させたことで、面としての防災性が向上した。	平成23年4月
	指標2	空き家の件数	件	45	H15	36	H22		31	○	あり	土地区画整理事業を行うことで、空き家が減少し、地区の防災・防犯性が向上した。	
	指標3	広場・オープンスペースの面積	m ²	5,000	H17	6,000	H22		6,050	○	あり	土地区画整理事業を行うことで、広場・オープンスペースが確保され、地区内の防災性が向上した。	
	指標4	地域まちづくり活動の頻度	回/年	5	H17	12	H22		12	○	あり	各事業を行っていくなかで、地区住民の意識や関心が高まり定期的に会合が行われるなど、まちづくり活動の頻度が増加したものと考えられる。	平成23年5月
	指標5	若年居住者の数	人	1,231	H17	1,080	H22	1,120	1,092	○	あり	公共施設整備が行われたことで、住環境が改善され、若年層の人口減少軽減に一定の効果があったものと考えられる。	平成23年4月
	指標6	災害に対する不安度	%	75	H9	50	H22		45	○	あり	公共施設整備が行われたことで、災害時の避難が容易になったこと、緊急車両の進入が可能になったことで、災害に対する不安度が軽減されたものと考えられる。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	なし												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	若年居住者数のモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	継続的に事業を行っていくことで、若年居住者の定住促進を図る。					
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後の継続的なまちづくり活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	地区住民の意見集約等のためにワークショップを開催していく。					

様式2-2 地区の概要

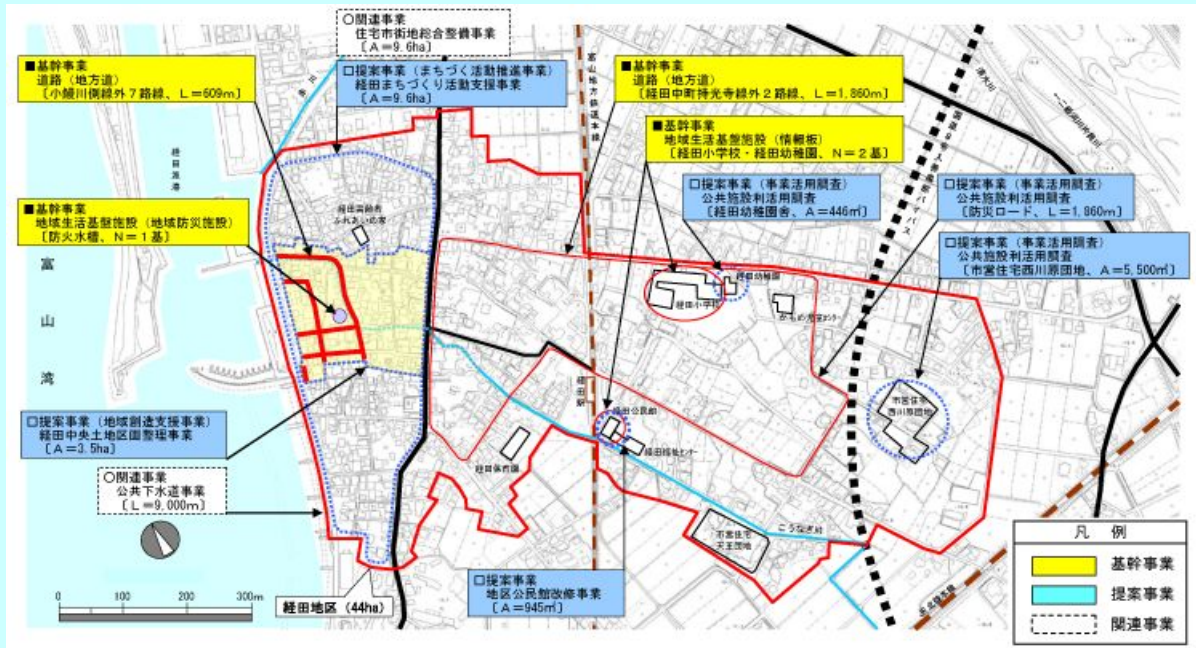
経田地区(富山県魚津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:「災害に強いまちづくり」安心し誇りを持って住み続けられる活力とコミュニティあふれるまち 目標1:防災性の高い安全な市街地形成 目標2:居住環境の改善 目標3:既存コミュニティの活性化と人口定着の促進	老朽建築物の更新件数	単位:件/5年	0 H17	50 H22	52 H22
	空き家の件数	単位:件	45 H15	36 H22	31 H22
	広場・オープンスペースの面積	単位:m ²	5,000 H17	6,000 H22	6,050 H22
	地域まちづくり活動の頻度	単位:回	5 H17	12 H22	12 H22
	若年居住者の数	単位:人	1,231 H17	1,080 H22	1,092 H22
	災害に対する不安度	単位:%	75 H9	50 H22	45 H22

土地区画整理事業



防火水槽設置



地区公民館改修事業



まちづくり活動支援事業



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え困難な敷地環境が改善され、老朽建築物が更新されている。また、8m、6m道路の整備やオープンスペースの確保により防災性の向上が図られた。 ・公共施設整備が行われたことで、住環境が改善され、若年層の人口減少軽減に一定の効果があったものと考えられる。また、定期的に会合が行われるなど、地区住民の意識や関心が高まっているものと考えられる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区全体の防災性を向上させるため、継続的に土地区画整理事業を行っていく。 ・活発になってきたまちづくり活動を維持するために、側面的支援を行う。